

あゆみの会の実施報告

昨年のおあゆみの会後半は、音楽療法士さんを講師に招き、音楽に合わせて楽しく体を動かすことができました。また、保健所の歯科衛生士や社会福祉士から、嚥下（食べ物を飲み込み、胃に送ること）の仕組みや口の中を健康に保つ重要性、在宅医療を支える福祉サービスについてお話をさせていただき、皆さん真剣に聴いておられました。その後は、参加者の皆さんで情報交換や意見交換を行い、楽しく交流を深めました。

参加できない方にも「あゆみの会報」を年2回発行し、会のお知らせや様子、情報をお伝えしています。皆様の参加をお待ちしています！



筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者・家族のつどい実施報告

講演会では、豊橋整形外科江崎病院の理学療法士古田卓先生に「拘縮に対して今日からできる拘縮予防」について、わかりやすくお話しいただきました。概要は以下の通りです。その他、拘縮予防のストレッチを行い、ALSの方のドキュメント映像を鑑賞しました。

【概要】

- ・拘縮とは、骨格筋、腱、靭帯などの関節周辺の組織が変化することにより、関節が動きにくくなること。
- ・拘縮を起こす原因は、痛みや筋肉の緊張、麻痺など関節を動かさないこと。
- ・拘縮を予防するためには、2回/日すべての可動域におよぶ運動が必要。自分でできなければ、動かしてもらう。
- ・寝ている姿勢しかとれない場合は、ポジショニングや手足の位置に配慮する必要がある。
- ・ポジショニングとは、快適で安定した姿勢や活動しやすい姿勢を提供すること。クッションなどを活用して、快適な姿勢を安全に保持する。

平成31年度難病患者・家族のつどい・医療相談

区分	対象者	予定
内分泌系難病患者・家族のつどい ※医療相談	内分泌系難病患者及び家族の方	9月19日(木)
筋萎縮症側索硬化症(ALS)患者・家族のつどい	筋萎縮性側索硬化症(ALS)の患者及び家族の方	10月4日(金)
難病患者・家族のつどい 「難病の方の安定した就労を考えよう」	難病患者及び家族の方	11月実施予定

※医療相談は、医師が病気や薬・検査などの相談に応じます。定員は5名となります。